

# ラコサミド錠「サワイ」を 服用されている方へ

## 目 次

- |   |                             |   |
|---|-----------------------------|---|
| 1 | てんかんとは？ .....               | 1 |
| 2 | お薬によるてんかんの治療 .....          | 2 |
| 3 | ラコサミド錠「サワイ」について .....       | 3 |
| 4 | ラコサミド錠「サワイ」の服用方法 .....      | 4 |
| 5 | 服用スケジュール .....              | 5 |
| 6 | 服用中にご注意いただきたいこと .....       | 7 |
| 7 | 副作用について .....               | 8 |
| 8 | ラコサミド錠「サワイ」服用に関する Q&A ..... | 9 |

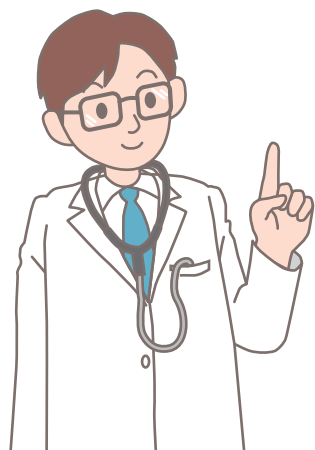
# 1 てんかんとは？

**てんかんのある方は1000人に5～8人（日本全体で60万～100万人）と言われています。**

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000070789\\_00008.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000070789_00008.html) (2025年10月閲覧)

- てんかんは、発作を繰り返す脳の病気です。
- 突然、脳神経細胞が過剰な興奮状態になることで発作が起きます。発作の症状は人によってさまざまです。
- てんかんは、年齢、性別、人種に関係なく発症します。
- てんかんが起こる原因はさまざまで、脳になんらかの障害がみられる場合もあれば、明らかな異常が見つからない場合もあります。また、発作を起こしやすい素因を持つ人もいます。
- てんかんは適切な治療によって、約70%の人がお薬で発作を抑えることができますと言われています。発作を完全に抑えられない場合でも、回数を減らしたり、症状を軽くすることができます。
- てんかん発作を上手にコントロールできれば、通常の社会生活を送ることが可能です。
- 主治医の先生と一緒に、てんかん発作を上手にコントロールしていきましょう。

## てんかんの治療目標



- 発作を抑える
- 副作用をできる限り少なくする
- 個々の患者さんが望む生活を送れるようにする



## 2

## お薬によるてんかんの治療

てんかん発作をうまくコントロールすることが大切です。

- てんかんの治療では、主に「抗てんかん薬」と呼ばれるてんかん発作を抑えるお薬を用います。抗てんかん薬には、脳神経細胞の過剰な興奮を抑える働きがあります。
- 抗てんかん薬にはいくつか種類があり、次のような点に基づいて、それぞれの方に合ったお薬を主治医が選択します。

### 主治医が抗てんかん薬を選択するときの主なポイント

- てんかん発作のタイプ
- 年齢、性別
- お薬に対する反応や副作用の有無
- ほかに服用しているお薬※                      など

※ てんかん以外の病気があり、ほかにお薬を服用している場合、お薬同士が影響し合わないよう考えて選ばれます。

- 抗てんかん薬の種類によって起こりやすい副作用が異なります。
- お薬の副作用をできる限り減らし、てんかん発作をうまくコントロールすることが大切です。
- てんかんのお薬による治療では、通常まず 1 種類の抗てんかん薬で治療を開始します。もし、1 種類の抗てんかん薬でてんかん発作を十分にコントロールできなかった場合は、複数の抗てんかん薬を組み合わせて治療を行うこともあります。

### 3 ラコサミド錠「サワイ」について

主治医の指示に従い、決められた量を服用しましょう。

- てんかん発作を抑える効果が期待されるお薬です。
- 「てんかんの部分発作（二次性全般化発作を含む）のある方」や「他の抗てんかん薬との併用療法として、他の抗てんかん薬で効果不十分な強直間代発作のある方」に処方されます。

#### ラコサミド錠「サワイ」の写真

ラコサミド錠「サワイ」には50mgと100mgの2種類があります。主治医の指示に従って、決められた量を間違えないように服用しましょう。

##### ラコサミド錠50mg「サワイ」



##### ラコサミド錠100mg「サワイ」



※実寸ではありません。

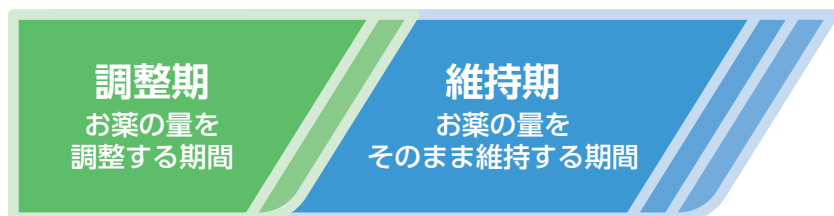
## 4 ラコサミド錠「サワイ」の服用方法

ご自身の判断でお薬の量を増やしたり、減らしたりしないでください。

- このお薬の服用は、お薬に慣れるため少しずつお薬の量を調整していく期間（調整期）と、症状がコントロールできたところで、その量をそのまま維持して服用する期間（維持期）に分けられます。
- お薬の量や、その量を調整する期間は、服用される方の状態により主治医が判断します。必ず主治医の指示に従い決められた量を服用してください。
- ご自身の判断でお薬の量を増やしたり、減らしたりしないでください。

### このお薬の服用方法イメージ

お薬の量を調整する期間とそのまま維持する期間があります。一定期間ごとに量を増やすなど調整し、適切な量にします。



服用し始めやお薬の量を増やした後は、めまい、眠気などの副作用がより多くみられることがあります。服用を続けることで次第に慣れることもありますが、体調に変化を感じた場合は主治医や薬剤師に相談しましょう。

発作が長期間抑制され、脳波も正常化した場合には、お薬の量を少なくできることもあります。

次のページにあるスケジュール表を活用し、  
服用するお薬の量を確認しましょう。

## 5 服用スケジュール

スケジュール表に記入してみましょう。

- 服用を始めるにあたって、主治医に指示されたお薬の量や服用する時間帯、服用する期間をスケジュール表に記入してみましょう。  
お薬の服用し忘れ防止や、お薬の量の確認にお役立てください。

### スケジュール表の記入例

9月25日～10月1日まで服用するラコサミド錠「サワイ」の量

1回目（朝食後）

2回目（夕食後）

ラコサミド錠50mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠50mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠100mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠100mg「サワイ」  錠

### あなたの服用スケジュールを記入してみましょう

\_\_\_月\_\_\_日～\_\_\_月\_\_\_日まで服用するラコサミド錠「サワイ」の量

1回目（ ）

2回目（ ）

ラコサミド錠50mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠50mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠100mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠100mg「サワイ」  錠

\_\_\_月\_\_\_日～\_\_\_月\_\_\_日まで服用するラコサミド錠「サワイ」の量

1回目（ ）

2回目（ ）

ラコサミド錠50mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠50mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠100mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠100mg「サワイ」  錠

\_\_\_月\_\_\_日～\_\_\_月\_\_\_日まで服用するラコサミド錠「サワイ」の量

1回目 (            )

2回目 (            )

ラコサミド錠50mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠50mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠100mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠100mg「サワイ」  錠

---

\_\_\_月\_\_\_日～\_\_\_月\_\_\_日まで服用するラコサミド錠「サワイ」の量

1回目 (            )

2回目 (            )

ラコサミド錠50mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠50mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠100mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠100mg「サワイ」  錠

---

\_\_\_月\_\_\_日～\_\_\_月\_\_\_日まで服用するラコサミド錠「サワイ」の量

1回目 (            )

2回目 (            )

ラコサミド錠50mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠50mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠100mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠100mg「サワイ」  錠

---

\_\_\_月\_\_\_日～\_\_\_月\_\_\_日まで服用するラコサミド錠「サワイ」の量

1回目 (            )

2回目 (            )

ラコサミド錠50mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠50mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠100mg「サワイ」  錠

ラコサミド錠100mg「サワイ」  錠

# 6

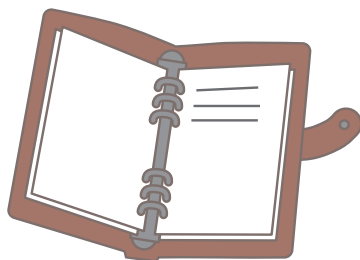
## 服用中にご注意いただきたいこと

- 症状がおさまったとしても、ご自身の判断でお薬の服用をやめないでください。症状が悪化してしまう可能性があります。
- このお薬の服用中にふわふわしためまい、目がかすむ、眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下が起こることがあります。そのため、自動車の運転など危険を伴う機械の操作は行わないようにしてください。
- お薬を服用し忘れないように、服用スケジュールを書き込んだり、決まった時間にお薬を服用するようしたり、自分なりに工夫しましょう。



### 次のような工夫で飲み忘れを防ぎましょう

- 時計や携帯電話（スマートフォン）のアラームをセットする
- 冷蔵庫など家の中の目立つ場所にメモを貼る
- ピルボックスやお薬カレンダーなどに1日分もしくは1週間分のお薬を入れておく
- カレンダーや手帳にしるしを付けて服用状況を記録する





## 7 副作用について

**気になる副作用がみられたら、主治医や薬剤師に相談しましょう。**

- お薬には病気を治したり、症状を軽くしたりする働きがありますが、その一方で好ましくない作用（副作用）があらわれることがあります。
- このお薬の服用中に、めまい、眠気、頭痛、吐き気・嘔吐、といった副作用がみられることがあります。
- 特にめまい、眠気は服用し始めやお薬を増やした後にみられやすいですが、服用を続けることで次第に慣れていくことがあります。
- 副作用があらわれてもご自身の判断でこのお薬の服用をやめないでください。また、気になる症状がみられた場合は、主治医や薬剤師に相談してください。

### このお薬の服用中に起こりやすい副作用



めまい



眠気



頭痛



吐き気・嘔吐

- 特に注意が必要な副作用として、次のような症状があらわれることがあります。このような副作用がみられた場合は、すぐに主治医や薬剤師に相談してください。

### 特に注意が必要な副作用

- 不整脈などの脈拍や心臓の異常を感じる
- 自分を傷つけたい、この世から消えてしまいたいという気持ちになる
- 目の充血、くちびるのただれ、皮ふの広い範囲が赤くなる
- リンパ節の腫れ

**このお薬の服用中に、体調の変化を感じた場合は、主治医や薬剤師に相談してください。**

Q1

お薬を服用し忘れてしまったのですが、どうしたらよいのでしょうか？

A

飲み忘れた場合は、気がついた時に1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が6時間以内の場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。

Q2

主治医から指示された量よりたくさんお薬を服用してしまったのですが、どうしたらよいのでしょうか？

A

このお薬をたくさん服用してしまった場合、お薬の作用が強くなりすぎてしまい、めまい、吐き気、てんかん発作、不整脈などの症状が出る場合があります。このような症状があらわれたら、すぐに医療機関を受診してください。また、特に変わったことがなくても、心配な場合はいつでも主治医や薬剤師に相談してください。

Q3

処方されたお薬を紛失して、服用を一時的に中断してしまいました

A

処方されたこのお薬を紛失し、服用を中断しなければならなくなってしまった場合、すぐに主治医に連絡し、お薬をもらってください。

## **Q4** 薬局などで売っているお薬やほかの病気のお薬と一緒にこのお薬を服用しても大丈夫でしょうか？

**A** 薬局などで売っているお薬やほかの病気のお薬と一緒にこのお薬を服用する場合は、あらかじめ主治医に相談してください。また、何か別の病気ではほかの病院にかかる場合は、このお薬を服用していることを担当の医師に伝えるか、お薬手帳または現在服用しているお薬を持って行って医師や薬剤師に見せてください。

## **Q5** 妊娠している場合、このお薬を服用しても大丈夫でしょうか？

**A** 妊娠中の人や、妊娠する可能性のある人は、必ず主治医に伝えてください。主治医がてんかん発作の状態や健康状態などを総合的に判断して、お薬を服用しても大丈夫かを決定します。

医療機関名：